

花矢図書館だより



12
2022

TEL・FAX 0186-46-1557
火～金 9:00～19:00
土・日 9:00～17:00
月・祝 休館

おすすめ 新着図書

一般書

- あの偉人は、人生の壁をどう乗り越えてきたのか (真山 知幸)
- 年寄りには本気だ (養老 孟司)
- 「認知症の人」への接し方のきほん (矢吹 知之)
- きらわれ虫の真実 (谷本 雄治)
- 血圧が下がる人は「これ」だけやっている (渡辺 尚彦)
- ふりまわされない！更年期 (永田 京子)
- リバー (奥田 英朗)
- あこがれ (瀬戸内 寂聴)
- カラークロウ (中原 裕也)
- 鉄道小説 (乗代 雄介) 他

児童書

- 3分後にゾツとする話 (野宮 麻未)
- なんで勉強するんだろう？ (齋藤 孝)
- もしキミが、人を傷つけたなら、傷つけられたなら (犯罪学教室のかなえ先生)
- 小学生からのわくわく！ おうち実験室 (市岡 元気)
- 13歳からの家事のきほん46 (アントラム 柘木利美)
- ルビねこと旅の仲間たち (野中 柊)
- あなたにあいたい (絵本)
- なぞなぞでおぼけやしきたんけん (絵本)
- まっくらあそびしようよ！ (絵本)
- リモコン (絵本) 他

今月のスタッフいちおし!

一般 『好奇心のかたまり』であり続ける黒柳徹子の言葉』 桑原晃弥 著

渋沢栄一やアドラー、ドラッカーなど著名な人物の心に残る言葉をまとめた、桑原晃弥の『〇〇の言葉』シリーズに黒柳徹子さんが登場です。厳選された80の言葉たちはどれも心に響き、優しく愛に溢れたものばかりです。それは、戦時中に子ども時代を送り、テレビの草創期を生き抜いて来た強さや誇りに裏打ちされたものだと思います。

昨今は子ども時代から「比較や競争」を強いられる厳しい時代ですが、黒柳さんは「人と比べない」という生き方を貫いています。それが、『黒柳徹子』という唯一無二の存在をつくっているのでしょう。

平和を強く願いユニセフ親善大使としても活動する黒柳さん。時代がどんなに変わっても、常に自分らしくあり続ける黒柳さんの珠玉の言葉たちを感じて下さい。

児童 『大人だって本当は知らない10才からの防犯・防災』

自転車で人にぶつかっちゃった！知らない人から声をかけられたら？地震！かみなり！火事！どうする！？大人でも知っている様で知らない、犯罪や災害にどう対処すればいいかなど、身近な危険に対する解決法を解説しています。

どうしたら自分や周りの人を助けられるか考え準備をしておけば、いざ大変な事が起きた時に学んだ「知識」が危険を遠ざけ、自分や大切な人を守る力になるでしょう。

『自分の身は自分で守る！』この本はきっとその手助けになるはずです。大切な子どもたちが犯罪や災害、事故に巻き込まれない様に、ぜひこの本を読んで学びましょう。

お知らせコーナー

花矢図書館定例

『おはなし会』

12月14日(水) 10:30～11:00

- 出演／おはなしの森さん
- 場所／花矢図書館 児童室

※延期や中止になる場合がございますので、予めご了承ください。

今月のテーマ展示は…

大人向け 『アンソロジー特集』

子ども向け 『クリスマス』

年末年始 12月28日(木) 17:00まで
休館のお知らせ 12月29日(金)～1月3日(火) 休館
1月4日(水)～通常通り

冬は
こたつ
読書だね♪



本 nonto のおはなし

本にまつわるおはなしをご紹介します♪

ターシャ、13歳の誕生日プレゼントは“牛”!?

ターシャ・チューダー。アメリカの絵本画家・園芸家。1915年8月28日マサチューセッツ州ボストン生まれ。

父は飛行機の設計技師で実業家。母は肖像画家という恵まれた家庭に生まれました。しかし、彼女は華やかな世界は好きになれず、9歳の時に両親が離婚し母親が引き取ることになりませんが一緒には行かず、自然豊かなコネチカット州レディングに住む両親の友人の家に預けられます。

13歳の誕生日に“牛”を買ってもらった彼女は15歳の時に学校を辞め、迷わず絵画と農業の道に進みます。農業で培った経験はその後のライフスタイルに大いに影響する事となります。自然を愛し共に生きる道を選んだターシャ。あの有名な『ターシャの庭』はこうして生まれたのですね。

その後23歳で結婚し、夫の強い勧めで『パンプキン・ムーンシャイン』で絵本作家デビューします。そして、生涯を通し100冊以上もの本を出版しました。

92歳で亡くなる間際まで、絵を描き、料理を作り、庭を造っていたそうです。亡くなって数十年経つ今でも、ターシャの絵や言葉は、数多くの人々を癒し、勇気づけています。